

りまして漸く……それは日本人の力に依つたのですが……我々が今まで考へて居つたことはすつかり間違てありまして、スラックと云ふやつは作業中にうまくやりますと熔鑛爐のノロを出すやうに出ることが分りました、と申しますのはチャムバーの周圍が冷えて居りますから色々な方法で探つて見ましてもスラックが皆固まつて居るものと思ひました、ところが能く中から掘りましてスラックチャムバーの或深部まで這入つて見るとスラックが熔けて居ると云ふことが分りました、それで穴を明けますと作業して居る最中に熔けたやつが出て参ります、今まで修繕の度にスラックを取る爲に1週間位は費します、私の所でもさうでありました、今度はすつかり其作業が無くなりまして、どんな大きな修繕でも2、3日位でやれるやうになりました、大變面白いので日本鋼管に参りまして御話しますと日本鋼管でもやつて見やうと云ふことでありました、ちよつと面白いございますから、御話申上げて置きます。

〔拍手起る〕

○鈴木武志君 實は先程から色々伺つて居りまして、是は到底私共のやうな人間が来る所ぢやないと思ひました、何れをなににしても悉くエンジンヤの方でございまして、何を伺つても初から終まで一つも分りませぬ、是てまあどうして4年間も製鐵所の飯を食つて居つたかと甚だ怪訝に堪へない次第であります。併し鹽田さん朝倉さんの御話に従ひまして是から屢々出席さして戴きまして、少しさう云ふ御話も偶には伺ふやうにしたいと考へました、私共の立場から見まして技術者の方に色々申し上げたい不平もありますし、希望もありますし、色々ありますが又其規格の問題、色々なことでもう少し事務の側と聯絡が出来ないものかと思ふことが再々ならずございまして、兎に角私共販賣の第一線に立つて居りますと、ラボラトリーで色々な御議論があるやうでございまして、其御議論を聴いて居る暇がありません、朝聴いて直ぐに契約書に右から左と掛からなければならぬ、規格がどうか何とかが言はれましても兎に角今日の内に處理してしまはなければならぬことを議論されましても始まらぬ、さう云ふ場合が非常に多いのであります、規格などに付きましても決するものから早く決めて戴いて、さうして兎に角早く決めて置いて、悪かつたらあとで直すと云ふやうにやつて戴きませぬと、其日々々の書類がちつとも捌けて参りませぬ、私共が歸る時には机上に書類を一つも残して行かぬ、1枚机の上に書類を残せば八幡に1萬噸のストックが溜ると思はなければならぬ、斯う云ふ方針でやつて居りますが、なかなかさう云ふことが行はれませぬ、殊に技術の方面の事に關しましては書類が残り勝てあります、又皆様方の方から仰しやれば、どうも叱言ばかり言うて困つた奴だと云ふ御話があるかも知れませぬ、其邊も何とかして聯絡して統制の立つやうな方法に願ひたいと思ひます、本會などにも我々のやうなクラスの者も多少出席されるやうな機会が多くなれば大變良くなるのぢやないかと考へて居ります、申し上げたいことも多々ありますが、今夕は御鄭重なる御招待に預りまして誠に有難うございました。

〔拍手起る〕

會費領收報告

正 會 員

金四圓五拾錢也	自昭和五年一月至同年六月	村 井 信 平	向 達
金八圓七拾五錢也	自昭和五年四月至同年十二月會費及入會金	笠 原 寬 美	寺 田 二 郎
金四圓五拾錢也	自昭和四年七月至同年十二月	村 井 信 平	
金八圓也	自昭和五年五月至同年十二月 會費及入會金	松 永 陽 之 助	

准 會 員

金五圓八拾錢也	自昭和五年五月至同年十二月會費及入會金	村 岡 喜 美	平 野 三 郎
	平 塚 保 明		
金六圓四拾錢也	自昭和五年四月至同年十二月會費及入會金	熊 地 直 政	松 下 義 久
金四圓六拾錢也	自昭和五年一月至同年六月會費及入會金	宮 崎 利 策	
金四圓也	自昭和五年六月至同年十月會費及入會金	白 土 四 郎	